



目指そう 無災害

七月一日は国民安全の日です。昭和三十五年に制定され、現在は一日から一週間を安全週間としており、安全パトロール、安全大会、標語の募集等、集中的に安全への取り組みがなされています。今年も各団体へ応募した標語が入選いたしましたので紹介いたします。

☆岩手県採石工業組合 入選 山崎 一男

昨日良かった切羽でも 今日安全保障なし

☆いわて県北地域安全衛生推進協議会 優秀賞 山口 美歌

危険探しはみんなの為 自分の為 あなたの思いやりが事故を防ぐ

☆岩手労働基準協会二戸支部 優秀賞 長井 聡

こまった しまった やっちゃった そうなる前に日々点検

二戸労働基準監督署管内では五月末時点で四件の死亡労働災害が発生しており、昨年のゼロ件から大幅な増加となっております。事故は絶対起こさないうという強い気持ちで仕事に取り組みましょう。

60th Anniversary



砕石プラントを担当している畑山繁さんが6月で60歳の誕生日を迎えました。平成5年に入社して以来22年間、主にプラント関係の職務に従事してきました。60歳（還暦）という昔は赤いちゃんちゃんこを着たおじいさんというイメージですが、今は皆気力も体力も充実してまだまだ働き盛り？です。これからも元気で後輩の指導をお願いします。



～ 難問 ～

砕石業は大きな原石から破碎と選別を繰り返し、目的に見合うサイズの石粒を造っている。大きな循環では、山の石は浸食や風化によって下流で堆積し長い年月のうちに固結して、もう一度岩石となるのだ。私達採石業の時間感覚では、一度細かくした石は元に戻らない。生玉子を熱するとゆで玉子になるが、ゆで玉子は冷やしても生玉子にならない。石はそういう仲間の一つである。最近の骨材ニーズの傾向は小粒径化、好粒形化へと進んでいる。そこで悩ましいのが小さくすると粉が出るし、角を取ると粉が出ることだ。粉は石へは戻らないのだ。戻らない粉をどう使うか。それが問題だ。



7月の 6月の あひこれ

吉 健康診断を実施しました。毎年6月に実施しています。身体は部品交換できませんが、定期点検により状態の把握はできます。結果を有効に生かしましょう。



いくつになっても注射は緊張します バリウム検査を行儀よく待ちます

式 試験や講習により以下の方々新たに資格取得しました。おめでとうございます。

- ◆発破技士 畠山 初男
- ◆車両系建設機械(解体用) 田頭 敏光
- ◆車両系建設機械(整地・運搬・積込用及び掘削用) 笠寺 宏

参 表土処理進む
梅雨に入っても強い雨もなく表土処理は順調に進捗しています。昨年6月との比較でも30メートルほど標高が下がり、景色が違って見えるようになりました。



H27.06



H28.06

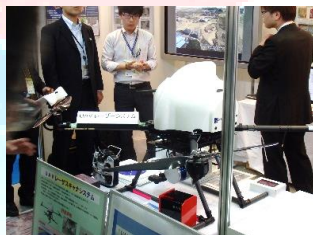
E.E東北2016

6月1、2日に夢メッセみやぎで行われたE.E東北2016に参加してきました。



E.E東北2016は、建設関連分野に関わる新技術の公開が行われる展示会で、出店者数は304社、出展技術総数は804技術にもなります。様々なブースがあったのですが、その中でも特に目についたのはUAV（ドローン）です。

UAVは困難な場所での調査、測量などで利用されていますが、その近未来的なフォルムに惹かれブースに足を運ぶ人も多くみられました。UAVの競技会も行われ、空撮による測量の精度を競います。120分という制限時間と濃淡の少ないオブジェの測量ということで、解析するソフトが上手く作動しないチームがあり、正確な解析結果を求められたのは6チームのうち、2チームだけでした。UAVの解析ソフトに関しては、これからの技術の進歩に期待したいところです。



編集後記

先月ニュースに載せたセキレイの赤ちゃんはあの一週間後に天国にいたしました。手？は黒くなり毛のようなものが生え始めたのですが、元気がなくなっていました。人間が育てる、ましてや素人が育てるなんて無理だったようです。でも、セキレイの赤ちゃんの面倒を見たあの時間はとても楽しかったです。

